

普及だより

●編集発行
大隅地域振興局農林水産部農政普及課
肝属地域農業改良普及事業協議会

鹿屋市打馬2丁目16-6
TEL：0994-52-2146
FAX：0994-52-2147



ホームページ <http://www.pref.kagoshima.jp/ao01/chiiki/osumi/index.html>

<新年あけましておめでとうございます>

◎肝属地域農業改良普及事業協議会 会長 宮原 順（東串良町長）



皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。
さて、令和4年を振り返りますと、長期化する新型コロナウイルス感染症やウクライナ危機、円安の影響を受け、国内外において原油・資材等が高騰し、また9月には台風14号が襲来するなど、農業者・農業関係者にとっては、非常に厳しい1年となりました。

そのような中、10月に開催された第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会では、9つの出品区のうち6つの出品区で本県が首席を獲得し、種牛の部では名誉賞も受賞するという快挙を達成しました。

また、サツマイモ基腐病については、病害抵抗性を持ち、焼酎の醸造適正にも優れる新品種「みちしづく」が育成されました。「こないしん」の普及と併せ、今後の被害軽減と焼酎・でん粉原料の安定供給が期待されております。

当協議会では、本年も関係機関・団体と緊密な連携を図り、ICTを活用したスマート農業や輸出促進に一段と力を入れるなど、明るい地域農業・農村づくりに尽力してまいります。

最後に、皆様方の御健康と御多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

<指導農業者による新規就農者の巡回訪問>

○指導農業者とは？ ⇒ 指導農業者は以下の①～③を主な活動としています。

- ①魅力ある農業経営や労働管理・農家生活の実現
- ②青年農業者や女性農業者、新規就農者へのアドバイス
- ③地域農業振興に関わる活動への参画

肝属地区には、44名の指導農業者が所属しています。



○新規就農者の巡回訪問（9～10月）

今年の新規就農者は、**肉用牛、野菜等のほか、多肉植物やモリンガ等**の珍しい作物にも取り組んでおり、指導農業者と有意義な意見交換ができました。

巡回訪問を機に、指導農業者との連携が深まり、新規就農者の経営が安定していくことが期待されます。



多肉植物巡回の様子(北部, 9月13日)

知って **得** する！技術情報！！

<サツマイモ基腐病の防除対策（育苗期の防除対策）>

◎持ち込まない対策

(1) 伏せ込み前の準備

育苗ハウスは天井ビニールを被覆して、地温 15℃以上確保したら、適正な土壌水分（土壌を握りしめ、放したら数個に割れる程度）条件下で、**殺菌効果のある剤（バスアミド微粒剤等）による土壌消毒を行います。**処理後直ちに必ずビニール等で被覆し、消毒後はガス抜きを十分に行いましょう。

(2) 種イモの伏せ込み

発病ほ場から収穫したイモを種イモに利用すると育苗時期に発病するため、**必ず健全ほ場から種イモを確保します。**自家採取した種イモを使用する場合、苗床に伏せ込む前に、病害発生イモや傷の多いイモなどは取り除き、健全なイモのみを利用します。

(3) 種イモの消毒

黒斑病、サツマイモ基腐病を防除するために、種イモのなり首と尾部を切除後、**トップジンM水和剤で種イモを消毒（200～500倍、20～30分間浸漬）**してから、伏せ込みます。

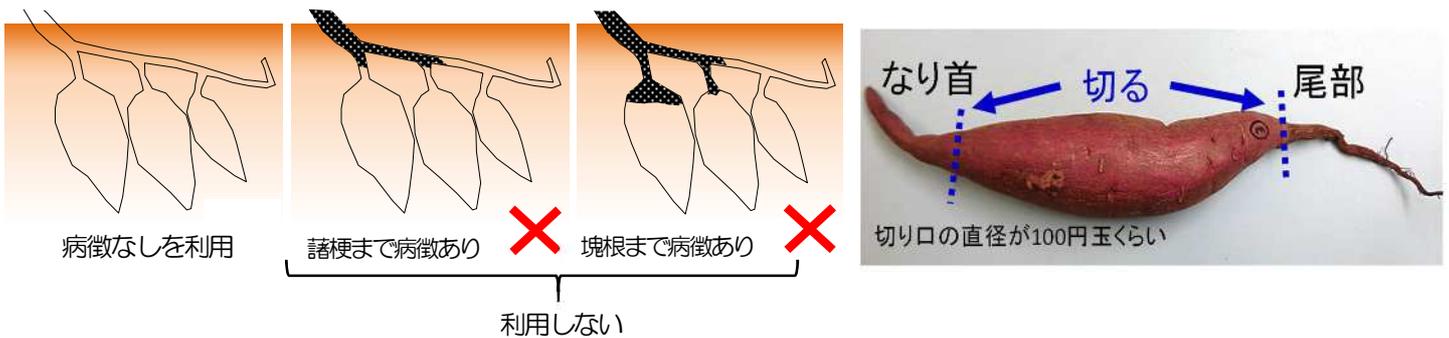


図 種イモを採取する株の状態と調整

(4) 発病イモの除去

育苗期に発病した株は、地上部の変色やしおれ症状が見られるため、**症状を確認したら直ちに種イモごと抜き取り、ほ場外に持ち出し処分します。**また、萌芽せずに腐敗する種イモも同時に掘り取り処分してください。

(5) 採苗方法と苗消毒

苗は、基部から離れるほど病原菌の感染リスクが低くなります。そのため、基部から5 cm程度離れた位置で採苗すると、より健全な苗が確保できます。ベンレート水和剤による**苗消毒は、発病抑制効果が高いので必ず行います。**苗消毒は採苗当日に行い、消毒液は使用当日に調整したものを使用してください。

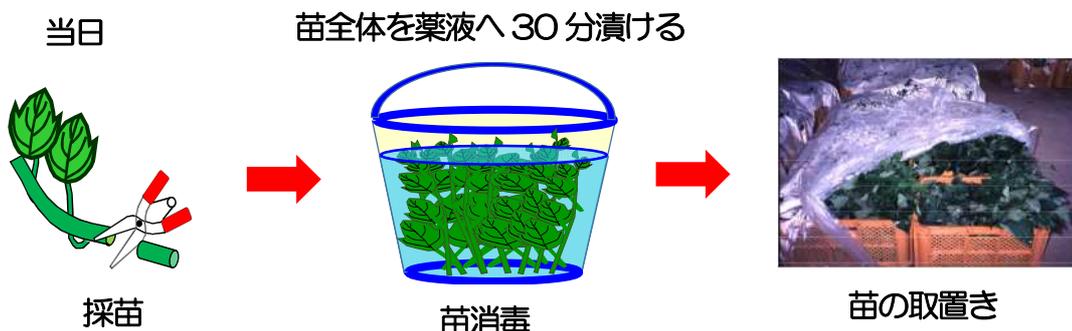


図 適切な苗消毒方法

知って **得** する！技術情報！！

野菜編 < 施設野菜の省エネルギー対策 >

ハウス内の温度むらは複数箇所で確認しましょう！

【温度測定の際の留意点】

- 作物の生長点付近にデータロガーを設置する
- 温度計間の誤差をあらかじめ把握し、必要な補正をする

※温度計の設置場所(例)

- ①暖房機の付近、②ハウス中部、③暖房機より一番離れた箇所

【温度ムラの改善】

- ハウス内の温度むらを確認した上で、送風ダクトや循環扇を有効に活用する
- 温度むらの解消が、湿度むらの低減につながり、灰色カビ病など多湿を好む病害の発生抑制につながります(湿度ムラは、温度の約5倍程度となります)



温度ロガーによる温度ムラ測定

知って **得** する！技術情報！！

果樹編 < カンキツせん定のポイント >

○成木のせん定 → 間引き主体で！

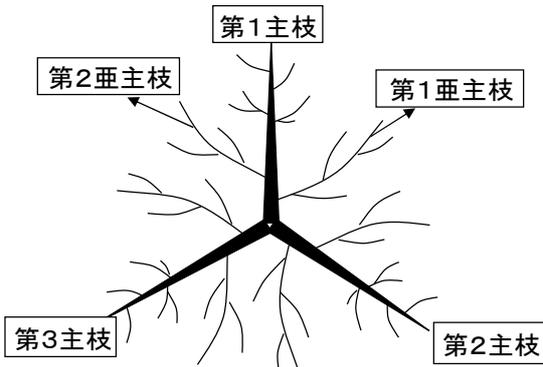
- せん定作業は、厳寒期を過ぎた2月中旬頃から発芽前の3月中旬頃までに行います。
- 主枝や亜主枝上にかぶさって日当たりを悪くしている枝などの間引き剪定に重点を置きます。

樹全体にまんべんなく陽を当てましょう！

○幼木のせん定

- 主枝の配置を考え、せん定はなるべく軽くします。
- 主枝候補枝の切り返しや逆行枝、交差枝の除去程度にとどめます。

樹を上から見た図

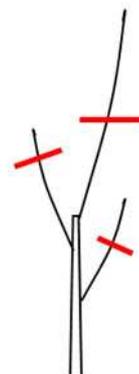


間引きせん定



枝を基部から切り落とすのが間引きせん定

切り返しせん定



枝の途中で切るのが切り返しせん定

<「かごしまのピーマン」産地指定30周年>

令和4年10月4日、大会実行委員会・東串良町園芸振興会・鹿児島きもつき農業協同組合による、かごしまブランド東串良産「かごしまのピーマン」産地指定30周年記念大会が行われました

○かごしまブランド製品とは？

1. 生産量が全国トップクラス
2. 品質の評価が卸売市場関係者等から高い
3. 品種が県の育成種などオリジナル
4. 品質等の特性が地域と結びついている



記念大会の様子

○今後の発展に向けて

記念大会では「この大会を契機に私たち生産者は新鮮で、おいしいピーマンを安定的に供給できるよう、まい進する」といった力強い決意表明がありました。

農政普及課では、これからも生産者と一体となって産地の維持拡大に向けた取組を支援します。

<青年農業者が夢・目標や課題解決成果を発表！> ～令和4年度肝属地区青年農業者会議～

令和4年10月28日に、鹿屋市内のホテルで青年農業者会議が開催され、青年農業者をはじめ、指導農業士や女性農業経営士、関係機関など40名が出席しました。

3名が発表し、審査の結果、仮屋蘭さんと妹尾さんが来年2月の県青年農業者会議に出場することになりました。

【意見発表の部】

仮屋蘭さん（鹿屋市，H30 就農）

「就農のきっかけと今後の目標」

【プロジェクト発表の部】

妹尾亜利抄さん（鹿屋市串良，H30 就農）

「子牛の発育改善による出荷成績の向上」

中濱裕太さん（錦江町，H27 就農）

「周年栽培における土壌消毒」

九州大会・全国大会を目指して共に頑張りましょう！



意見発表の部
仮屋蘭さん



プロジェクト発表の部
妹尾さん



3名の発表者と審査員
(前列右から2人目が中濱さん)